

青森県内の擦文土器文献

平山明寿

擦文土器は土師器の影響を受けて発生したと考えられ、北海道のほぼ全域に分布している。擦痕（刷毛目）による器面調整と沈線文を特徴とし、底辺部が張り出し、口縁部が大きく外反する器形の土器である。

青森県内から出土する擦文土器の研究が本格的に始まったのは、将木館跡（岩月1951）の発掘調査からである。それからしばらくの間は東京在中の研究者によって研究が進められていたが、1960年代後半から県内の研究者による資料が紹介され始めた。下北半島を中心にした中島・橘（橘1965）や、津軽を踏査した北林（桜井・北林1969）をはじめとする採集資料の紹介が主なものである。発掘調査で擦文土器の出土が見られるようになるのもこの頃からで、大館森山遺跡（斎藤・岩崎1968）、小館遺跡（桜井1971）、第一田名部小学校校庭遺跡（橘1971）、沢田遺跡（桜井1973）、大間貝塚（橘 1974）などが主な遺跡である。遺跡から出土した擦文土器が充実した結果、県内から出土した擦文土器の編年研究が佐藤・高杉によって行われた（佐藤1972、高杉1975・1977）。それ以後も古館遺跡（青森県教育委員会1979）や蓬田大館遺跡（桜井1987）など、擦文土器が出土した遺跡は増えており、現在では三浦（三浦1991・1995）により資料集成が進められている。

中島遺跡（桜井1954）や舞戸遺跡（高杉・木村1975）など、県内の奈良・平安期の土器の中には口縁部から頸部にかけて横走沈線を施したのが見られる。当初は土師器と考えられ（桜井1958）ていた。擦文土器に分類される可能性も高いが、在地の土器として捉えようとする考え（鈴木1979、三浦1991）も出されている。

県内で擦文土器が出土した遺跡は現在では50以上を数えるが、採集資料によるものがほとんどであり、遺構に伴って出土した例が少ないことにも注意する必要がある。

小稿は、青森県内出土の擦文土器に関する文献を集成したものである。資料が図化されている文献、「擦文土器」と分類・記述している文献を中心に集成し、地域ごと、遺跡ごとにまとめた。また、編年研究や資料集成などについては「その他の文献」としてまとめた。なお、前述の横走沈線を施す土器については、擦文土器か否か判断が難しいため、掲載を極力さけていることをあらかじめお断りしておきたい。

最後に、この資料を作成するにあたり、御指導・教示して下さった関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

注 記（文献表中）

（注1）遺跡名は、青森県教育委員会『青森県遺跡地図』1992 による。遺跡によっては文献発表当時とは遺跡名が異なる場合がある。

（注2）中島の採集資料による。古釜谷平遺跡と思われる。

（注3）斗南ヶ丘遺跡は現在（1）～（4）に分かれているが、そのどれであるかは不明である。

（注4）沢田A遺跡・沢田B遺跡を統合・改称。

（注5）『青森県遺跡地図』（注1と同じ）には掲載されていない。

（注6）五所川原市近傍出土という。

なお、1997年刊行の青森県埋蔵文化財調査報告書の中にも擦文土器が出土した遺跡がある。

青森県内の擦文土器文献(1)

地域	市町村	遺 跡 名(注1)	文 献 名	
下 北	大間町	割石	江坂 輝彌 「青森県下北半島稲崎遺跡調査報告」古代 第12号 1953 渡辺 誠 「下北半島割石遺跡採集の擦文土器について」考古学雑誌 第51巻第3号 1966 橋 善光 「下北半島の擦文式土器」北奥古代文化 第5号 1973 橋 善光 「中島全二蒐集遺物集成(八)」うそり 27 1990	
		大間貝塚	橋 善光・奈良 正義 「青森県大間貝塚調査概報」考古学ジャーナルNo99 1974 金子 浩昌・橋 善光・奈良 正義 「第三次大間貝塚調査概報」考古風土記 創刊号 1976	
		奥戸	橋 善光 「青森県大間町奥戸出土の擦文式土器」北奥古代文化 第7号 1975	
		小奥戸(1)	青森県教育委員会 『小奥戸(1)遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書 第154集 1992	
		風間浦村	釜谷(注2)	橋 善光 「中島全二蒐集遺物集成(八)」うそり 27 1990 橋 善光 「中島全二蒐集遺物集成(九)」うそり 28 1991
	東通村	将木館	岩月 康典 「下北半島に於ける土師器の堅穴」考古学ノート 第5号 1951 東通村教育委員会 『将木館遺跡発掘調査報告書』 1981	
		ムシリ	江坂 輝彌 「尻屋崎付近の土師器、須恵器出土の貝塚」日本考古学協会第11回総会研究発表要旨 1953	
		稲崎	江坂 輝彌 「青森県下北半島稲崎遺跡調査報告」古代 第12号 1953	
		白糠赤平	橋 善光 「青森県東通村白糠採集の土師器と擦文土器について」古代 第53号 1970	
		大平(4)	工藤 竹久 「下北半島大平D地点遺跡」考古学ジャーナル No83 1973 東通村教育委員会 『大平(4)遺跡』東通村史編さんに伴う遺跡発掘調査概報 1995	
	前坂下(5)	青森県教育委員会 「下北地点原子力発電所建設予定地内埋蔵文化財試掘調査報告書」青森県埋蔵文化財調査報告書 第71集 1982		
	むつ市	第一田名部小学校校庭	橋 善光 「第一田名部小学校校庭遺跡第一次調査概報」北奥古代文化 第3号 1971	
		斗南ヶ丘(注3)	橋 善光 「中島全二蒐集遺物集成(10)」うそり 30 1993	
	脇野沢村	九艘泊岩蔵	江坂 輝彌・高山 純・渡辺 誠 「青森県九艘泊岩蔵遺跡調査報告」石器時代 第7号 1965	
		桂沢	橋 善光 「青森県脇野沢桂沢の擦文土器について」考古学ジャーナル No22 1965	
		瀬野	橋 善光 「下北半島の製塩」うとう 第80号 1974	
	川内町	上野平	寺田 徳穂 「下北郡川内町上の平遺跡」考古風土記 創刊号 1976 橋 善光・奈良 正義 「下北半島上野平遺跡の調査」北海道考古学 第13輯 1977	
	上 北	三沢市	平畑(5)	三沢市教育委員会 『平畑(5)遺跡Ⅰ』三沢市埋蔵文化財調査報告書 第8集 1991
	東 青	蟹田村	上小国	北林 八洲晴 「津軽半島における擦文土器の新資料」北海道考古学 第7輯 1971
		蓬田村	小館(1)	桜井 清彦 「青森県小館遺跡の調査」考古学ジャーナル No62 1971 桜井 清彦 「小館および油川城址出土の擦文土器」考古風土記 第2号 1977
蓬田大館			佐々木 達夫 「津軽・蓬田大館の発掘—1981年—」日本海文化 第10号 1983 桜井 清彦・菊池 徹夫編 『蓬田大館遺跡』早稲田大学考古学研究室報告 1987	
青森市		沢田(注4)	桜井 清彦・北林 八洲晴 「青森市の擦文土器について」北奥古代文化 第2号 1969 桜井 清彦 「青森市沢田A遺跡の調査報告」北奥古代文化 第5号 1973	
		油川城跡	桜井 清彦・北林 八洲晴 「青森市の擦文土器について」北奥古代文化 第2号 1969 北林 八洲晴 「津軽半島における擦文土器の新資料」北海道考古学 第7輯 1971 桜井 清彦 「小館および油川城址出土の擦文土器」考古風土記 第2号 1977	
		築木館	葛西 励 「青森市築木館遺跡出土の擦文土器について」燃糸文 第2号 1971 北林 八洲晴 「津軽半島における擦文土器の新資料」北海道考古学 第7輯 1971	
		白旗野(注5)	北林 八洲晴 「津軽半島における擦文土器の新資料」北海道考古学 第7輯 1971	
		近野	青森県教育委員会 『近野遺跡発掘調査報告書Ⅱ』青森県埋蔵文化財調査報告書 第22集 1975	
		三内	青森県教育委員会 『青森市三内遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第37集 1977	
		尻八館跡	青森県立郷土館 『尻八館』青森県立郷土館調査報告書 第9号 1981	
		内真部(1)	北林 八洲晴 「津軽半島における擦文土器の新資料」北海道考古学 第7輯 1971	
		内真部(4)	青森県教育委員会 『内真部(4)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第158集 1993	
		小三内	青森市教育委員会 『小三内遺跡発掘調査報告書』青森市埋蔵文化財調査報告書 第22集 1994	
中 南		弘前市	小友館	弘前市教育委員会 『弘前市小友遺跡発掘調査報告書』 1981
		境関館	青森県教育委員会 『境関館遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第102集 1986	
		中崎館	青森県教育委員会 『中崎館遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第129集 1989	
	黒石市	高館(1)	青森県教育委員会 『黒石市高館遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書 第40集 1977	
	田舎館村	前川	田舎館村 『前川遺跡発掘調査報告書』 1991	
碓ヶ関村	古館	青森県教育委員会 『碓ヶ関村古館遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第54集 1979		

青森県内の擦文土器文献(2)

地域	市町村	遺跡名	文献名
西 北	小泊村	坊主沢	鈴木 克彦・松岡 敏美 「青森県小泊村出土遺物について」とひょう 3号 1981
		折戸	鈴木 克彦・松岡 敏美 「青森県小泊村出土遺物について」とひょう 3号 1981
	市浦村	赤坂	桜井 清彦 「青森県相内村赤坂遺跡について」古代 第17号 1955
		中島	桜井 清彦 「青森県十三村中島発見の土師器」考古学雑誌 第51巻第1号 1954 市浦村教育委員会 『十三・中島遺跡』 1984
		オセドウ	市浦村教育委員会 『オセドウ貝塚発掘調査概報』 1992
	中里町	中里城跡	中里町・中里町教育委員会 『中里城跡試掘調査報告書』中里町文化財調査報告書 第1集 1989 中里町 中里町・中里町教育委員会 『中里城跡Ⅰ』中里町文化財調査報告書 第2集 1990
		唐崎	中里町教育委員会 『中里町の遺跡Ⅱ』中里町文化財調査報告書 第7集 1994
	金木町	藤枝	桜井 清彦 「青森県相内村赤坂遺跡について」古代 第17号 1955 竹内 正光 「津軽平野における擦文の遺跡」考古風土記 第6号 1981
		川倉小学校	高杉 博章・木村 鉄次郎 「津軽半島における擦文式土器の新例と問題点」北奥古代文化 第7号 1975
		神明町	竹内 正光 「青森県金木町出土の縄文土器と擦文土器」考古風土記 第3号 1978
		居升村	竹内 正光 「津軽平野における擦文の遺跡」考古風土記 第6号 1981
	五所川原市	出土地不明(注6)	高杉 博章・木村 鉄次郎 「津軽平野における擦文式土器の新例と問題点」北奥古代文化 第7号 1975
		石田	五所川原市教育委員会 『石田遺跡』五所川原市埋蔵文化財発掘調査報告書 第16集 1994
	稲垣村	松枝	竹内 正光 「津軽平野における擦文の遺跡」考古風土記 第6号 1981 福田 友之 「津軽・稲垣村松枝遺跡出土の擦文文化資料」北海道考古学 第23輯 1987
		懸河	稲垣村教育委員会 『懸河遺跡発掘調査報告書』稲垣村文化財調査報告書 第1集 1989
		久米川	青森県教育委員会 『久米川遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第163集 1993
	木造町	石上神社	青森県教育委員会 『石上神社遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書 第35集 1976
	鯉ヶ沢町	大館森山	斎藤 忠・岩崎 卓也 「大館森山」岩木山ー岩木山麓古代遺跡発掘調査報告書ー 1968
		舞戸	高杉 博章・木村 鉄次郎 「津軽平野における擦文式土器の新例と問題点」北奥古代文化 第7号 1975
		種里城跡	鯉ヶ沢町教育委員会 『種里城跡』鯉ヶ沢町埋蔵文化財調査報告書 第11集 1989 鯉ヶ沢町教育委員会 『種里城跡Ⅲ』鯉ヶ沢町埋蔵文化財シリーズ 第12集 1995
		空沢	青森県教育委員会 『空沢遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書 第130号 1989

その他の文献

著者名	文献名
桜井 清彦	「東北地方北部における土師器と竪穴に関する諸問題」館址 1954
菊池 徹夫	「擦文文化の形態分類と編年についての一試論」物質文化 15 1970
佐藤 達夫	「擦文土器の変遷について」常呂 1972
菊池 徹夫	「擦文式土器基本形態の形成」北海道考古学 第8輯 1972
高杉 博章	「擦文文化の成立とその展開」史学 第47巻第1・2号 1975
高杉 博章	「本州における擦文文化の様相」考古風土記 第2号 1977
鈴木 克彦	「青森県の擦文文化」季刊どるめん 22号 1979
北林 八洲晴	「古代」青森県の考古学 1983
石附 喜三男	「擦文文化における東北地方」角田文衛古希記念 古代学叢論 1983
天野 哲也	「本州北端部は擦文文化圏に含まれるか」同志社大学考古学シリーズⅢ 1987
三浦 圭介	「本州の擦文文化」考古学ジャーナル No341 1991
三浦 圭介	「古代」新稿弘前市史 資料編1(考古編) 1995
大沼 忠春	「擦文・オホーツク文化と北方社会」考古学ジャーナル No411 1996